

開催概要

1. 大会名称 第16回日本在宅医学会大会 浜松大会
2. テーマ 「在宅医療 日本の未来への道標」
3. 開催日時 平成26年3月1日(土)～2日(日)
4. 開催会場 グランドホテル浜松
〒432-8507 静岡県浜松市中区東伊場 1-3-1
5. 参加人数 4,000名(予定)
6. 主催 日本在宅医学会
7. プログラム 別紙
8. 事務局 第16回日本在宅医学会大会事務局 担当：細田、野末
〒433-8113 静岡県浜松市中区小豆餅4丁目4-20
医療法人社団 心 坂の上ファミリークリニック
TEL：053-474-5551 FAX：053-416-2001
E-mail：zaitaku16@umin.ac.jp
9. 運営事務局 セントラルコンベンションサービス
日本旅行

開催趣旨

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さてこの度、平成26年3月1日(土)～2日(日)に浜松において、第16回日本在宅医学会大会を開催する運びとなりました。

今大会は、日本在宅医学会が毎年開催している学術大会を浜松市(グランドホテル浜松)で開催するもので、全国各地から在宅医学・在宅医療に従事する医師、医療・保健・福祉の専門職や一般市民等、約4,000名の参加を予定しております。

◆大会テーマ 「在宅医療 日本の未来への道標」

◆基本コンセプト

今、日本は終末期の自分の療養場所を自分の気持ちに正直に選ぶことができているとはいえない社会です。もちろん様々な理由により、完全に個人の望みが叶うことはないと思います。しかし、自宅で過ごしたい、あるいは、自宅で最期を迎えたいと思っておられる人が約6割という統計上のデータからも、在宅医学会としては、それを叶えるために行動しなければなりません。また、2025年には推定死亡者数が160万人となり、現在の死亡者数の40万人増となり、その対応も課題となります。この死亡者数の増加をすべて、病院も含めた施設で対応することは不可能です。

今後、よりよく生命を全うできる社会にするためにも在宅医療は不可欠です。在宅で自分の家族を見る、自分の手で自分の家族を見ることによって、より優しくより力強くより成熟した社会になるのではないかと考えます。

在宅医学会は、内科学会や外科学会と比べるとその規模は10分の1にも満たないものです。しかし、在宅医学会は今後の日本の医療だけではなく、政治あるいは経済をも牽引していかなければいけない重要な使命を持っていると思います。在宅医学会を通じて、在宅医療が日本の未来の道標となり、日本の未来をつくっていくことができるよう、今回の全国大会で考え、発信していきたいと考えております。

このような趣旨をご理解いただき、ランチョンセミナー、企業展示、抄録集広告・寄付金のご協力を賜りますよう心よりお願いする次第でございます。

末筆ながら、皆様のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2013年6月 吉日

第16回 日本在宅医学会大会長
坂の上ファミリークリニック
小野 宏志